



応援7

『子育て支援ガイドブック』と市ホームページ「つやま子育てネット」
 さまざまな子育て支援サービスや子育て支援関連施設などの情報を提供しています。『子育て支援ガイドブック』は、こども課や各支所・出張所などで配布しています。皆さん、ぜひ活用ください。



つやま子育てネット

子育てに関する情報を提供しています



応援6

病児保育実施医療機関の増設
 小学生以下の子どもが、病気のため登園や登校ができない時に、医療機関で預かってもらえます。これまで、「こどもデイケアルームさくら」（河原内科・松尾小児科クリニック・二宮）のみで実施していましたが、今年度中に小畑醫院（病児保育実施場所は志戸部）で病児保育を開始します。

子どもが病気になっても、どうしても仕事を休めない時、安心して子どもを預けることができますので、とても助かります。



畠山隆助さん家族（小原）



応援5

インフルエンザワクチン予防接種の費用助成
 毎年、冬の季節に流行するインフルエンザを予防するため、満1歳から中学3年生までの子どもに対して、1回の接種につき1千円の助成を行います。
接種回数（助成回数）
 1歳～13歳未満の人 2回接種（助成回数2回）、
 13歳以上の人 1回接種（助成回数1回）

毎年、インフルエンザ予防接種をしています。費用の助成があるので、とてもうれしいです。



インフルエンザワクチン予防接種の費用助成

子育てと仕事の両立を支援します

病児保育実施医療機関の増設

子どもを生き育てることに夢を持てる津山へ



子どもは社会の希望であり、未来をつくる大切な存在です。家庭や地域、企業、行政などが協力し、安心して子どもを生き育てられる環境の整備や、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進など、みんなの力で子育て支援をしていきましょう。また、市では、さまざまな子育てサポートサービスを実施しています。一人で悩んだりせず、市のサービスを気軽に利用して、楽しみながら子育てをしましょう。



応援4

市では、平成27年3月に策定した「津山市立教育・保育施設再構築計画」に基づき、市内各地区での幼児教育や保育の環境を整備するため、公立の保育所や幼稚園のあり方を再構築しています。
 特に、急激な園児数の減少や施設の老朽化への対応が大きな課題となっている公立幼稚園は、既存の園をすべて廃止し、新しく2園を建設します。

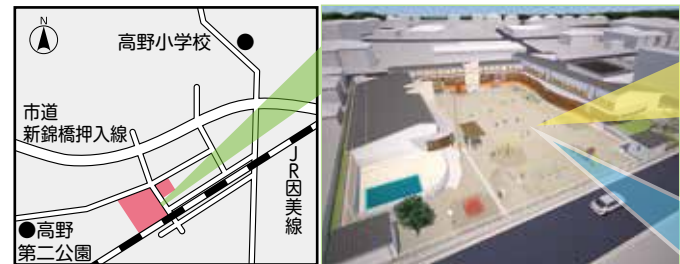
教育・保育施設のあり方を見直して、子どもたちの健やかな成長を応援します

各地区の取り組み状況

地区	現況
旧津山	・既存の公立幼稚園全12園を閉園（平成30年度末） ・公立幼稚園2園を高野本郷および二宮地内に新設（平成31年度開園予定）
加茂・阿波	・公立の公郷保育所、加茂幼稚園および阿波幼稚園を閉園（平成30年度末） ・加茂保育園（私立）が保育所型認定こども園に移行（平成31年度から予定）
勝北	・勝北風の子こども園（公立）が幼保連携型認定こども園に移行（平成28年度から実施済み）
久米	・久米保育所（公立）が保育所型認定こども園「久米こども園」に移行（平成29年度から実施済み）

新しい公立幼稚園の完成予想図

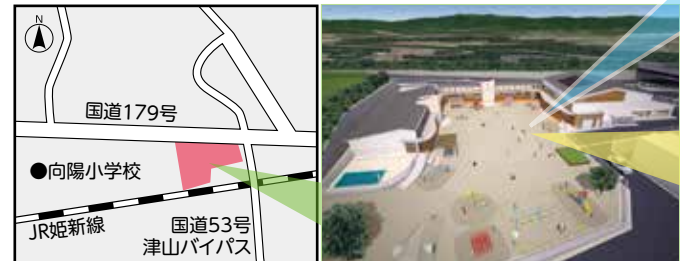
東エリア：高野本郷地内（高野小学校から南西約300m）



主な特徴 近隣に高野第二公園があり、園外活動の場として有効活用を図ることができる。

共通の特徴 親子の遊びや交流、子育て相談ができる専用の部屋などを設け、より充実した子育て支援を受けることができる。

西エリア：二宮地内（二宮公民館の敷地内）



主な特徴 二宮公民館との複合施設として現在の敷地内で整備することで、施設の有効活用や園児と地域住民との交流を図ることができる。

新しくできる2つの幼稚園の園名を募集します

「子どもたちが笑顔いっぱい元気いっぱいに遊び、身近な人々や自然・物との関わりを通じて心豊かにたくましく育ち、さまざまな世代から親まれる幼稚園」となるような園名を募集します。

皆さんぜひ、ご応募ください。

募集期間 2月1日(木)～28日(水)

応募資格 市内に在住、通勤、通学する人

募集内容 園名とその名称を付けた理由

応募可能数 1人につき東西の新設園各1点

選考・発表方法 津山市立幼稚園建設検討会で選考・決定し、広報津山や市ホームページなどで発表
 ※応募方法など、詳しくはこども課（☎32-2179）にお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください